

【大学間協定留学】留学報告書

記入日:2022年3月5日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	ハンガリー
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: エトヴェシュ・ロランド大学 現地言語: ハンガリー語
留学期間	2021年9月～2022年1月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	社会科学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年2月1日
明治大学卒業予定年	2024年4月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬～1月下旬 2学期:2月上旬～7月 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	28,000
創立年	1635

留学費用項目	現地通貨 (HUF)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	525,928	175,405 円	
食費	131,535	43,868 円	
図書費		円	
学用品費	5,156	1,716 円	
携帯・インターネット費	10,000	3,335 円	
現地交通費	45,959	15,328 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	142,248	47,441 円	
被服費	11,126	3,710 円	
医療費		円	
保険費	207,217	69,110 円	形態:明大サポート
渡航旅費	406,308	135,510 円	
ビザ申請費		円	
雑費	145,335	48,471 円	日用品等
その他		130,366 円	留学中の旅費
その他		円	
合計	1,630,812	674,260 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:東京成田 目的地:ブダペスト 経由地:ドーハ	
復路 出発地:ブダペスト 目的地:東京成田 経由地:ドーハ	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社:カタール航空 料金:135,510	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: _____ 復路 航空会社: 料金: _____ ∴合計: _____	
航空券購入方法	
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:ホンダトラベル) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
SRSという大学斡旋のサイトを用いて探した。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
物件を探す際は大学斡旋のサイトを通じて行うことをお勧めする。留学中にできた友達が、facebook を使って物件探しをした結果詐欺にあったと話していた。	
現地情報	
1)留学期間中, 病気やケガをしましたか。した場合, どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)	
2)留学期間中, 学内外で問題はありましたか。あった場合, 誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し, どのような防犯対策をしましたか。また, 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
外務省のホームページやメールから情報を得た。また, メンターの現地生からどの地域が危険か話を聞いた。犯罪に巻き込まれたことはないが, 夜遅くに帰宅する際はなるべく大通りを選んだ。	
4)携帯電話や, インターネットについて, 現地での利用・接続はいかがでしたか。(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので, 寮で使用できない時はカフェに行った。)	
telekom という会社の SIM を使っていたが, 全てハンガリー語で書かれていたため分からない所もあった, という点以外は問題なかった。WiFi は中心部のほとんどのカフェで利用できた。大学の WiFi 使用はネットで申込が必要だった。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また, クレジットカードも併用していた。)	
日本で現金を両替して持って行った。また, キャッシングができるクレジットカードを持って行ったので, 必要なときは現金を引き落とす。現地での支払いはほとんどクレジットカードでできる。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
キャッシングできるクレジットカード, 変換プラグ, 日本の薬	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 特になし	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Migration	移民論
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Science
履修期間	9-1 月
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 12 回
担当教授	Béla Soltész
授業内容	移民問題を様々な視点(社会学、経済、法律、政治などの分野)から分析する
試験・課題など	期末試験のみ。オンデマンド授業で、動画視聴後に提示された文章を読む。
感想を自由記入	移民問題の様々な側面について学ぶことができた。ハンガリーは移民政策に積極的ではないが、現地でその原因や実情について知ることができて良かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Anthropology of Religion	宗教人類学
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Science
履修期間	9-1 月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 9 回
担当教授	Viola Teisenhoffer

授業内容	belief, faith, ritual, magic, witchcraft といった宗教人類学の基礎となる考えを学び、私たちの宗教に対する西洋的な見方を変える
試験・課題など	A4 4-5 枚のレポートと 90 分のグループプレゼンテーションがあり、それらの課題と授業参加度で評価される。毎回資料を読んでから参加することが推奨されているが、必須ではない。
感想を自由記入	毎回様々なグループのプレゼンを聞き、それに対しての疑問や質問のディスカッションが授業の中心だった。MA 向けの授業だったため想像より大変だったが、この分野に興味があればついていけるように感じる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
psychology		心理学	
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Science		
履修期間	9-1 月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 12 回		
担当教授	Indries Krisztián		
授業内容	心理学のプロセスや人間の行動について学ぶ		
試験・課題など	期末試験のみ。		
感想を自由記入	心理学とは何かについて知ることができた。授業で扱った内容は多くはなかったが、心理学を初めて学ぶ学生にとってはちょうどよい量だったように思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Policies of the European Union		EU の政策	
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Science		
履修期間	9-1 月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 13 回		
担当教授	Tamas Dezso Ziegler		
授業内容	EU の政策に関して、基礎的な政治や法律の知識を学ぶ		
試験・課題など	期末試験のみ。		
感想を自由記入	EU の基礎的な知識がないとついていくのが難しく感じたが、期末試験はあまり難しくなかった。覚える情報が多かったが、EU 域内でこのような内容を学ぶことができ良かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Family and Society		家族と社会	
科目設置学部・研究科	Faculty of Social Science		
履修期間	9-1 月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 13 回		
担当教授	Zsuki Kiss, Máté Zombory		
授業内容	社会における家族の歴史や、変化していく役割・構造について学ぶ。		
試験・課題など	期末試験のみ。		
感想を自由記入	前半は demography、後半は sociology の異なる教授による授業だった。家族と子供の関係性や結婚に対する考え方について新たな視点から学ぶことができ、面白かった。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	語学勉強
	4月～7月	語学勉強
	8月～9月	
	10月～12月	出願・選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請・航空券購入
	8月～9月	ビザ取得、出国
	10月～12月	秋休み、中間課題に取り組む
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

留学にあたりヨーロッパを中心に希望先を探していたのですが、ELTEを留学先大学として選ぶまではハンガリーについてほとんど何も知りませんでした。ハンガリーは物価も安く、内陸国であるということもあり、留学中に様々な国へ旅行できるのではないかとというのが主な理由です。また、ハンガリーの政策について気になるものがあり、実際に国内で生活することで、国民がどのように感じているか知りたいと思ったからです。

実際に半年間生活してみて、ハンガリーは留学先として良い国だと感じました。首都であるブダペスト市内では公共交通機関が発達しており、夜も比較的安全だと言われています。また、アフリカ・ヨーロッパ・アジア等各国からの留学生と交流でき、多様な文化や価値観を学ぶことができました。

ブダペストではハンガリー語を学ぶ必要はほとんどなく、市内の若い世代であれば、ほぼ全員短い文を理解できると思います。大学に通う学生は英語が流暢に話せるので、言語によって友達作りに困ることはありませんでした。授業は課題の多い授業とそうでない授業の差が激しいので、事前にメンター制度で繋がった現地生や、教授に確認することをお勧めします。

アドバイスとしては、留学中に何事も積極的に挑戦してほしいです。何かを待つのではなく、自分から動くということを大切に留学生活を送ってもらえればと思います。